



メルセデス・ベンツのクルマが駐車スペース探知機に ボッシュとダイムラーが駐車スペース探しをより簡単に

2016年9月2日

PI 9366 BBM joe/BT

- ▶ ボッシュとダイムラーが「コミュニティ ベース パーキング」の
パイロットプロジェクトを開始
- ▶ 道路を走行する車両が路肩の空き駐車スペースを見つけて報告

シュトゥットガルト – 毎日の駐車スペース探しはストレスの元です。駐車スペース探しが目的地までの移動より時間がかかる場合はなおさらです。路肩の駐車スペースを備える道路の場合、自動車が絶えず駐車スペースの横を通過しています。これらの自動車が他のドライバーに空きスペースの大きさや場所を知らせることができたら、非常に便利はずです。

まさにこの取り組みを始めたのが、メルセデス・ベンツとボッシュです。駐車スペースをより速く簡単に探す新しいスマートなサービス、「コミュニティ ベース パーキング」のテストを両社が協力して進め、シュトゥットガルト都市圏でメルセデス・ベンツのテスト車両を使ったパイロットプロジェクトをスタートさせました。これらの車両に搭載されたセンサーは、路肩の空き駐車スペースに関するデータを生成します。テスト車両には、こうしたデータの送受信に必要な通信用インターフェースも装備されています。

「メルセデス・ベンツのほぼすべての車両がスマートネットワークによってつながっています。これらの車両に適切なセンサーを搭載すると、ただ通りすぎただけでデータを生成できるようになります。私たちは、空き駐車スペースを素早く見極めるために、このデータを利用することが次のステップだと考えています」と、メルセデス・ベンツのデジタルビークル&モビリティの責任者を務める Sajjad Khan は述べています。

ボッシュでコネクテッド パーキングの責任者を務める Rolf Nicodemus もこう述べています。「コミュニティ ベース パーキングにより、空きスペース探しがドライバーにとって一種の共同作業となります。これにより、駐車スペース探しにかかる時間を大幅に短縮できるだけでなく、ドライバーを空いている駐車スペースに直接誘導できるようになります」

既存のセンサーを新たな用途に活用

すでに車両に組み込まれている超音波センサーは、時速 55km で走行していても路肩を継続的にスキャンすることができます。センサーが空いている駐車スペースを検知すると、収集されたデータはダイムラー ビークル バックエンド (Daimler Vehicle Backend) から安全なデータリンクを経由して Bosch IoT Cloud に送信され、そこで分析されます。検知されたスペースが本当に空き駐車スペースなのかは、データマイニングの手法を使って検証します。例えば、交通量が多い道路の特定の場所にある空きスペースが繰り返し検知される場合は私設車道である可能性が高く、駐車には利用できません。

メルセデス・ベンツとボッシュが提供するこのサービスの第 1 段階では、システムが、ある道路で空きスペースを見つける確率を試算します。コミュニティ ベース パーキングがより広く定着した次の段階では、路肩のスペースの空きと大きさをリアルタイムで報告できるようになります。このコミュニティ ベース パーキングのデータは、例えば公共駐車場の空きスペースなどの詳細な空きスペース情報とともに、デジタル駐車スペースマップとして車載ディスプレイや「Mercedes me」アプリを通じて表示されます。ドライバーはナビゲーションシステムで目的地を選択すると、空き駐車スペースに直接誘導してもらえます。

ストレスフリーの駐車がドライバーのイライラを最小限に

適切な駐車スペースを速やかに見つけられると、ドライバーは時間と燃料を節約できるだけでなく、イライラと環境に与える負荷も軽減できます。新型のメルセデス E クラスに搭載されているリモートパークパイロット (Remote Park Pilot) などの駐車支援システムと組み合わせることで、コミュニティ ベース パーキングは駐車ストレスを大幅に緩和できます。

報道用画像: #1-BBM-22108, #1-BBM-22056, #1-BBM-22055

詳細情報:

www.bosch-connected-parking.com

[New service for drivers: Bosch lets cars find parking spaces themselves](#)

報道関係対応窓口:

Jörn Ebberg

電話: +49 711 811-26223

世界のボッシュ グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2015年の売上高は417億ユーロ(約5.6兆円)で、総売上高の59%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、

電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2015年の従業員数は約37万5,000人(2015年12月31日現在)、2015年の売上高は706億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含む世界的な製造・販売ネットワークは約150カ国を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界約118の拠点で5万5,800人の従業員が研究開発に携わっています。私たちボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。

*2015年の平均為替レート(1EURO=134.3円)で換算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス(英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター(ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube(日本語)